あだちく　1ねん　こくご　きょうかしょを　つかって

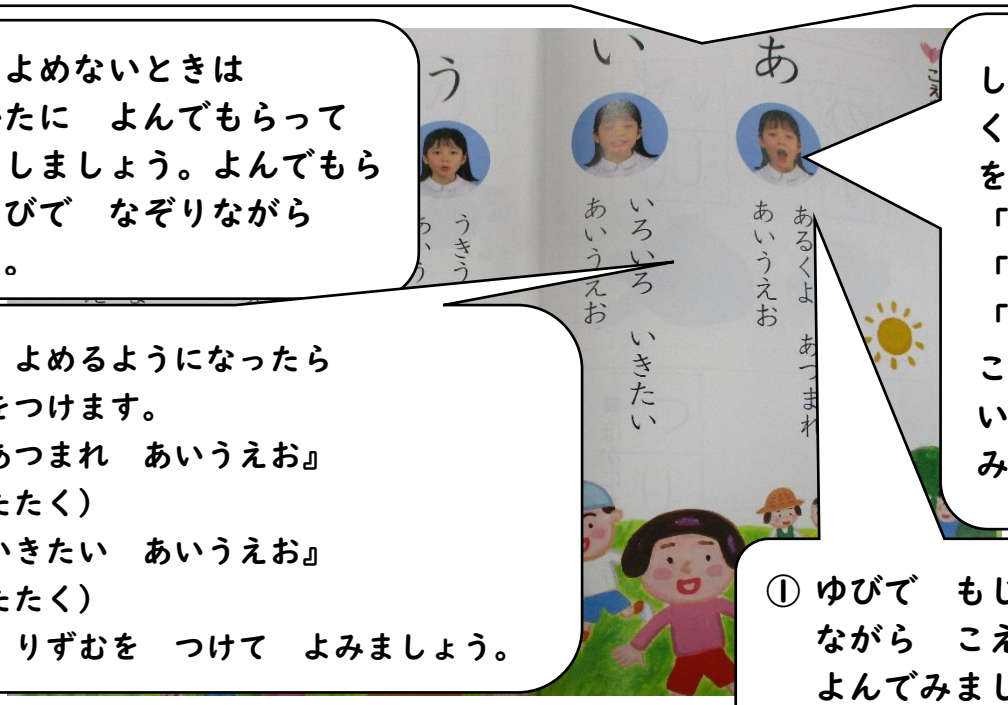
おうちでがくしゅう⑪　「こえを　あわせて　あいうえお」P20～21

足立区教育委員会

★がっこうが　おやすみのあいだ　こくごのきょうかしょをつかって　おうちで　がくしゅうしましょう。ひとりでも　できますが　できれば　おうちのかたと　いっしょに　やりましょう。

　きょうかしょ　２０ページを　ひらいて　みてみましょう。
「こえを　あわせて　あいうえお」と　かいて　ありますね。このぶん　を　よむ　れんしゅうをします。
　よむまえに　おくちの　たいそうを　します。きょうかしょのしゃしんをよくみて、しゃしんのくちのかたちを　まねして「あ」「い」「う」「え」「お」といって　みましょう。かがみを　みながら　れんしゅうしても　いいですね。おうちのかたにも　くちのかたちを　みて　もらいましょう。くちのかたちが　じょうずに　できたら　① ～②　のじゅんに　れんしゅうしましょう。
がっこうがはじまったら、おともだちと　こえを　あわせてよむのが　たのしみですね。それまでは、おうちのかたと　こえをあわせて　たのしく　よんでみましょう。

まだ　よく　よめないときは
おうちの　かたに　よんでもらって
れんしゅう　しましょう。よんでもらうときも、ゆびで　なぞりながら
よみましょう。



しゃしんの
くちのかたち
をよくみて
「あ」「い」
「う」「え」
「お」と
こえにだして
いって
みましょう。

②じょうずに　よめるようになったら
　てびょうしをつけます。
『あるくよ　あつまれ　あいうえお』
ぱん（てを　たたく）
『いろいろ　いきたい　あいうえお』
ぱん（てを　たたく）
というように　りずむを　つけて　よみましょう。

① ゆびで　もじを　なぞり
　ながら　こえにだして
　よんでみましょう。

【保護者の方へ】

「こえをあわせてあいうえお」は、姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で読む学習です。まずは、「あ」「い」「う」「え」「お」を１音ずつ、写真の口の形で、はっきり言う練習をさせてください。まだ文字を読むのが苦手なお子さんには、保護者の方が先に一行読んで、後に続けて読ませてください。その時大事なことは、指で文字をなぞらせることです。単なるオウム返しでは文字を読めるようになりません。「あ」の文字を指して「あ」と読む、というように、文字と音を合わせるように読ませてみてください。本来なら、友達と一緒に音読して、リズムのよさや声を合わせる楽しさを味わう学習ですが、ご家庭では、家族みんなで声を合わせて読んだり、暗唱大会（誰が一番に正しく暗唱できるか競う）を行ったりして、楽しく学習できるようにお願いします。読むのが上達したり、暗唱できるようになったりしたら、うんと褒めてください。褒められることが、学習への自信と意欲につながります。